



国見っ子

令和3年度 第15号
国見町立国見小学校だより
令和4年 2月28日
発行者 校長 本多 康弘

冬をこえて春になれば

今年の冬は、例年にない大雪の年となりました。しんと降り積もる雪もあれば、強い風に舞った雪もありました。溶けては消えて、また降り積もる雪も、始まりはひとひらの雪からでした。小さな、そして真っ白な雪が、阿津賀志山も、南北に走る国道も、そして校庭や学校を包み込みました。

こうした雪が降り積もるなかで、何度も除雪される地域の方々の姿が見かけました。なかには、学校周辺の除雪もお手伝いいただいた方もおいでになりました。子どもたちは、整えられた道を通って登下校をすることができました。

この雪を見て、子どもたちは、歓声を上げて校庭で飛び出していきます。雪だるまを作って遊んだり、雪の上に寝転んだりしながら、冬を、そして雪を満喫していました。

さて、2月も終わり、いよいよ3月を迎えることになりました。厳しく長い冬もようやく終わりを告げようとしています。時折見せる青空や太陽のまぶしい輝きをどんなに待ち望んだことでしょうか。校庭の木々にも、新しい芽吹きが聞こえてきています。

詩人のハイネは、『春が何であるかは、冬になって初めてわかる』と書き残しています。この厳しい冬を地道に歩んだその先には、身に付けた力がきっと発揮されることと思います。



総合学力調査

3学期は、1年間の総まとめをする時期です。コロナ禍のもと長い年月が過ぎようとしています。このような中でストレスを抱えている子どももいると思いますが、改めて友達と友達との関わりが大切であることに気づいているように感じます。

さて、昨年実施した総合学力調査結果についてご家庭へお知らせします。この結果から、これまでの学習の振り返りをしっかりと行いたいと思います。また、家庭生活を見直し、家庭学習のバランスやリズムを見つめ直す機会としたいものです。

このテストは、全国的な標準テストですので、自分自身の学習の取り組みを振り返り、今後に向けた見通しを持つよい機会です。この1年間でできたこと・できなかったことなどを振り返り、これから取り組みたいことや目標を考えるなど、進級や進学準備をすることが大切です。ぜひ、ご家庭でも学校での学習の様子、家庭での学習習慣などについてお話し合いの時間をお持ち下さい。

特に、学び方（学習行動）については、学習量である学習時間と、学習の質である学習方法（学習方略）が関係しており、いずれも学力に影響していることがわかっています。そのうち、学習方法が学習時間よりも学力との関連が強いといわれています。

例えば、「遊ぶ時は体を使って遊び、勉強する時は集中して勉強する」「テストで間違えた問題をやり直す」「計画を立てて勉強する」「自分に合った勉強のやり方を工夫する」など、学習成果を上げるためには、こうした学習方法を工夫することが重要なのです。



授業参観・学級懇談会

県内全域に適用されている「まん延防止等重点措置」の期間を延長されことにより、授業参観・保護者会などを中止とさせていただきます。本来であれば、子どもたちの学校での様子をご覧いただいたり、学年担当より1年間の子どもの成長や春休みの生活に向けてお話をさせていただくところでしたが、大変残念に思います。

この機会に、お子さんから学校の様子や1年間頑張ったことや成長したことなど、お話いただいたり、お子さんの声に耳を傾けていただいたりしながら、1年間を振り返り、4月からの新生活への夢を語ってはいかがでしょうか。